

# ザ・じどうかん

発行：調布市子ども生活部児童青少年課 TEL：042-481-7534・7536(直通)  
メールアドレス：jidousei@w2.city.chofu.tokyo.jp



平成30年2月  
第5号

とくしゅう  
**特集**

じょりゅう きし おおずもう もとまくうちりきし し ひと じどうかん りょう しじょうざだんがい  
**Jリーガー・女流棋士・大相撲元幕内力士！！みんな知ってるあの人が児童館を利用してた？！ 誌上座談会**



## けんだま

やってみよう！

**Beetle**  
～カブトムシ～

1

けんの底をおでこにあて、けん先を正面におけた状態で玉を頭の後ろに下す。

**Earrings**

～イヤリング～

2

糸を首にかけ、後ろから糸を両耳にかけ玉とけんを耳の前に出す。

**Moon landing**

～月面着陸～

3

大皿または小皿と玉が接するようにけんを玉の上に乗せる。



**ミニクイズ**

調布市の児童館シンボルマークが次のページから隠れているよ！何個見つけられるかな？（答えは最後のページをチェック）



# 「はばた」 誌上座談会 調布の児童館で育った 調布っ子

今号の「ザ・じどうかん」第5号では、特集として、地元、調布の児童館で育った各界で活躍する方々にお集まりいただき、『誌上座談会』を企画しました。登場いただくのは、大相撲元幕内力士の皇風さん、女流棋士の香川愛生さん、J1清水エスパスMF白崎凌兵さんです。みなさん、子ども時代には調布の児童館で楽しく遊んだ思い出があるとのこと・・・さて、どんなお話しが聞けるでしょうか。

— さっそくですが、ご自身はどんなお子さんでしたか？



**皇風**  
自分は、みんなより身体が一回り大きくて、元気で活発でした。

**香川**  
私は、わんぱくで、負けず嫌いだっただので、よくケンカをしては泣いているような子どもでした。

**白崎**  
僕は、サッカーばかりやっていた。一言でいうと「やんちゃ」だったと思います。

— みなさん、子どもの頃、児童館でよく遊んでいたとお聞きしています。皇風さんと白崎さんは調布ク丘児童館、香川さんは緑ヶ丘児童館ということですが、児童館ではどんな思い出がありますか？

**皇風**  
学校が終わった後、児童館にみんなですぐに集まってキックベースやボール遊びをしていましたね。とにかく児童館のまわりが遊び場が日暮れるまでよく遊んでいました。児童館の行事では、ドッジボール大会とかは好きでしたね。

**香川**  
私も、プレイルームでドッジボールをしていました…でも、やっぱり将棋ですね。中でも館長に「飛車」と「角」をもらったのに負けて悔しかったことをよく覚えています。

**白崎**  
自分は、家が近所だったので、毎日児童館の庭でサッカーばかりしていました。サッカーをしていると年齢に関係なく友達が集まってきましたね。サッカー以外の思い出は、児童館に泊まって夜映画を観たのを覚えています。いろいろな人がいて面白かったです。



1986年生まれ。八雲台1〜第七中出身。本名：西江俊司。調布ク丘児童館で優勝したことをきっかけに、本格的に相撲を始め。明大中野高等学校相撲部にて3年次で国体予選にて個人優勝・団体優勝。全日本大会ベスト16。その後早稲田大学に進学。2年次に日本学生相撲選手権大会で団体3位。その後ケガのために途中退部したが、夢をあきらめきれず、ケガを克服して、卒業後大相撲の世界へ。早稲田大学出身の力士として70年ぶりと話題。2011年、幕下全勝優勝。2012年十両優勝。141勝112敗18休。幕内最高位並部13枚目。2014年引退。翌年、地産物産「相撲めし『皇風ノ店』」をオープン。



1993年生まれ。緑ヶ丘1〜第八中出身。小学生時代に将棋に親しみ、2005年〜2006年（J16〜中1の時）に、女流アマ名人戦で2連覇を達成。2006年口は全日本中学生選手権将棋選手権大会（女子の部）優勝。2006年、15歳の時に女流2級としてプロ入り。当時の現女流棋士の中で最年少だった。翌年、女流1級へ昇級。2013年には女流二段へ昇段。同年10月、初のタイトル・女流王将を奪得。同日付で女流三段へ昇段した。【女流王将】2勝（2013・2014年度）【相撲大賞】第41回（2013年度）女流銀賞獲得 第42回（2014年度）女流銀賞獲得 【出演】映画『女流棋士の春』（2016年12月公開）- 角川春役（主演）



1993年生まれ。八雲台1〜第七中出身。中学生時からFC東京U-15でサッカー。その後山梨学院大学附属高校へ進学。高2の時に、全日本高校サッカー選手権大会でベスト8大会優勝選手、全日本高校選手権にも選ばれる。2011年、Jリーグクラブによる争奪戦の結果、清水へ入団。2012年シーズン、所属チームが古巣FC東京へ移籍。2013年カターレ富山へ移籍。2015年清水復帰。2016年出場35試合でJ1得点に貢献。2017年シーズンより、エースナンバーである背番号10を背負う。2017年出場26試合3ゴール。

— みなさんはそれぞれの道で活躍をされているわけですが、そのきっかけになったことはなんですか？

**皇風**  
わんぱく相撲で優勝したのがきっかけですが、実は自分が知らない間に周りの大人が勝手に申し込んでいたんです(笑)。大学時代にケガをして一度リタイアしましたが、やり切っていない自分が嫌で、大相撲の世界へ進みました。引退後は相撲のことをもっと多くの人に知ってもらいたかったのと、もともと家が自営で、小さい頃から経営者になりたいと思っていたので、相撲めしのお店をオープンしました。

**香川**  
将棋が強くなってきたことを実感するようになってきた頃、もっと強い人とやってみたく、勝ちたい、という気持ちが大きくなってきました。棋士は、他の仕事と違って強くなってこそなるものなので、この道をめざしました。

**白崎**  
僕は、小学校1年生の時に兄とサッカーを習い始めました。サッカーが好きだったこともあり、もともと負けず嫌いだっただので、自分が一番になりたいだけ思っていていました。でも、中学になったらもっとうまい奴に出逢ってヤバイなど(笑)。身体が成長するにつれて、やれる自信もついてきた頃には、プロになることしか考えていなかったです。



— まだまだお若いみなさんですが、今後の目標や夢について聞かせてください。

**皇風**  
やっぱり、子ども達に相撲を教えたいですね。相撲の素晴らしさを広めたい、自分が育った調布にも貢献していきたいと思っています。調布に土俵があるといいですね。

**香川**  
今年でプロになって10年目。タイトルのこともありますが…、私をここまで育ててくれた調布に貢献できるような活動ができれば、と思っています。活躍することで恩返しをしたいのと、いつか調布で将棋を教えたいという思いがあります。

**白崎**  
やっぱり、もっとうまくなりたいですね。もちろん日本代表チームにも入りたいです。

— 最後に、ご自身が育った地元調布の子ども達へメッセージをお願いします。

**皇風**  
自分は才能がなかったけど、夢をあきらめない、と決めたから、ここまでやってこれたんです。子ども達には、自分が「やる」と決めたら続ける努力をしてほしいですね。スポーツの世界は厳しいです。活躍できるのは一時期だけで、引退したあとの方が長いからです。今のうちに「心→体→技」と鍛えて、人として強くなってほしいと思います。できれば相撲もやってみてください。



**香川**  
将棋から学ぶことはたくさんあります。いい先生や友達に出逢って、いろいろな経験をして強くなってほしいです。将棋は男の子だけでなく、ぜひ女の子にもやってほしいですね！

**白崎**  
自分は、中学の頃はサッカー漬けで、「俺はみんなと違う」って思い込んでやっていたから、あんまり友達と遊べなかったし、それで友達とうまくいかない時期もありました。

それでも、仲のいい友達がいるから地元に戻って来られる。自分はそんな調布が好きです。だから、友達は大事にしてほしいですね。あと、やりたいことは一生けん命やってほしいと思います。今日はお忙しい中、いろいろお話を聞かせていただき、ありがとうございました。みなさん、子ども時代には多くの友達とたくさん遊び、その中で、いろいろなことを考えながら、立派に成長され、今の活躍があることがわかりました。これからも、それぞれの道で、さらなる活躍をお祈りしています。(おわり)

## climbing



### ～児童館でクライミング始めてみませんか？～

スポーツクライミングは、『東京2020オリンピック』の正式種目です。

2月21日(水)には、市内クライミングジムから先生を呼んで、『ボルダリング体験』もを行います。

染地児童館には、調布の児童館で唯一、遊戯室にクライミングボードがあり、ボルダリングなどスポーツクライミングが体験できます。

詳しくは、染地児童館のおたよりなどを確認してください。



染地児童館  
調布市染地2-41-12  
★杉森小学校のすぐそば  
Tel: 042-485-3102

## Topic “じどうかんランチルーム、をしていますか？”

調布の児童館には、どの児童館にも「ランチルーム」があります。いすやテーブルなどがあり、持ってきたお昼ごはんを食べることができます。冬はあたたかく、夏は涼しい児童館のランチルームで、ひとりでも、お友達とも自由に、楽しいランチタイムを過ごしてね。

★日時：日曜日・祝日・年末年始を除く毎日 正午～午後1時

★対象：0歳～18歳（未就学児は保護者同伴）



児童健全育成推進財団は、ナイキ ジャングループ合同会社をパートナーに、東京都内の10ヶ所の児童館で“JUMP-JAM”という新しい運動遊びプログラムを導入いたします。調布市では、つつじヶ丘児童館と染地児童館で実施します。

“JUMP-JAM”は、ゲームを通じてスポーツと自由な遊びを融合させた運動遊びで、運動能力の他、子どもたちの身体的、情緒的、社会的な成長のサポートを目標としています。

実施日など詳しくは、各児童館にお問い合わせください。

# びどうかん 児童館

## こころゆめ 子どもの頃の夢

# の人に聞いてみよう! vol.2

わたしが、楽しい児童館  
ライフをお手伝いします!

せいり  
西部児童館 よだちゃん  
す あそ  
好きだった遊び: ゲーム(ポケモンとか!)  
こころ ゆめ せかいしゅうりょこ  
★子どもの頃の夢★ 世界一周旅行  
りゆう  
～理由～  
しやうらい 000 ちがて しやうらい 000  
将来の夢を聞かれるのが苦手で、将来の夢を聞かれたとき  
はいつも「世界一周旅行」と答えていました!世界一周旅行は  
今でもしたいです!



ちやうらがあか  
調布ヶ丘児童館 のむけん  
す あそ  
好きだった遊び: ドッジボール  
こころ ゆめ  
★子どもの頃の夢★ マンガ家  
りゆう  
～理由～  
しゆうちやう  
自由帳にいろんなキャラクターの絵を描く  
ことが好きだったからです。オリジナルのマ  
ンガをたくさん描いて、休み時間に友達か  
読んで面白くってくれた時はとてもうれ  
しかったです。



じどうせいしやうなんか  
児童青少年課 うらた  
す あそ  
好きだった遊び: ミニ四駆  
こころ ゆめ  
★子どもの頃の夢★ バasketボール選手  
りゆう  
～理由～  
とうしえいこー  
ミニバスのチームに入っていて、当時NBAにはマイケ  
ルジョーダンなどのスター選手がおり、彼らの華麗なフ  
レーを見て憧れていたからです。



みどりがあか  
緑ヶ丘児童館 えなっしー  
す あそ と たつしやう  
好きだった遊び: ゴム跳び, 卓球  
こころ ゆめ  
★子どもの頃の夢★  
せかいしゅう え か たけ  
世界中を絵を描いて旅すること  
りゆう  
～理由～  
テレビで観るのではなく、見たことない景色を実際  
見に行ったり、世界の人と話してみたり、いろいろな  
食べ物や食文化を食べてみたからです。



さす  
佐須児童館 いけちゃん  
す あそ しやうぎ  
好きだった遊び: ファミコン, 将棋  
こころ ゆめ やまのこせんしやう  
★子どもの頃の夢★ プロ野球選手  
りゆう  
～理由～  
のちかこくさい  
野村監修時代のヤクルトフローズが好きで、シヨ  
ートを守っていた山田選手のファンでした。好きな選手が  
いて、スポーツを見るのは楽しいので、みんなも  
いろいろなスポーツを見てみてね。



そめち  
染地児童館 ただちゃん  
す あそ かん  
好きだった遊び: バasketボール, 缶けり  
こころ ゆめ かいしやう しちやう  
★子どもの頃の夢★ 会社の社長  
りゆう  
～理由～  
おと かん 955 ちやうしやう かんがく  
思いついてみるに、父が中小企業の管理職であ  
り、父が会社の社長をやっていたりとしたことが背景に  
あったのかなとも思います。



※ 児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設で、「児童の遊びを指導する者」を配置することが定められています。

## 児童館シリーズ野球大会

やきゅうぼう  
野球帽をかぶって公園や道端でキャッチボールをするのがあたり  
まえ しょうわ ねんごころ ぜん さんか はじ  
前だった昭和58年頃、全児童館のチームが参加して始まりまし  
た。ゴムボールをプラスチックバットで打ち、素手でキャッチする  
みちか おんな いっしやう たいかい いま ちが  
身近なルールで、女の子も一緒にプレーしました。大会は今とは違  
ぜん あつ しあい いくせいじかん  
い、全チームが集まって試合をするのではなく、育成時間に、児童  
ちか こうえん しあい こうえん いちるい さんるい  
館や近くの公園などで試合をしました。公園によっては一塁、三塁  
ど がた いちるい にるい  
のファールラインが90度ではないひし形だったり、一塁から二塁  
みじか にるい さんるい きやくたん なが かたち へんそく  
が短く、二塁から三塁が極端に長い形などの変則なダイヤモンド  
しあい びちゆう がんば  
で試合をすることもありますが、みんな夢中になって頑張りました。  
いま やきゅうだいす あつ  
今でも「野球大好きっ子」が集ま  
ほこしゃ だいせいえん なか しょうり めざ  
り、保護者の大声援の中、勝利を目指  
してプレーをしています。



## へんしゅうこうき 編集後記

こんかい とくしゅう しじょうざだんかい そだ "はばた" ちやうふ  
今回の特集『誌上座談会～児童館で育った 翔く調布っ子～』は、  
はっかんとうしよ きかく  
「ザ・びどうかん」発刊当初から、ずっとあたためていた企画でした。  
しゅざい とお かん さんにな かたがた じたい じゆう まんきつ  
取材を通して感じたことは、三人の方々の子ども時代は、自由を満喫しな  
おお なかま さまざま けいけん ちいき  
がら、多くの仲間とともに様々な経験をしてきた、ということです。地域の  
なか おとな みまも そだ ひつよう  
中でたくさんの方々に見守られながら育つことが、子どもたちには必要  
をしたのではなく、誰もその可能性を秘めているということなどを、こ  
きかく とお さいかくにん  
の企画を通して再確認することができました。  
さいご ほんにん まえ しつづい しやうち い  
最後に、ご本人たちを前に失礼を承知で言わせてもら  
うなら、あの「やんちゃ」だった子たちが立派な大人に  
かつやく すがた はたら しょくいん おお  
なり活躍している姿は、児童館で働く職員たちの大  
よこ はげ  
きな喜びと励みです。  
しめん か しゅざい きやうりやく  
この紙面を借りて、あらためて取材へのご協 力に  
かんしゃもう あ  
感謝申し上げます。



登録番号 (刊行物番号)

2017-185